

平成26年度 八戸ポータルミュージアム事業概要

| 区分 | 事業名 | 事業概要 |
|-----------------|--|--|
| | 会所場づくり | はっち事業3本柱の1つ目。誰もが気軽に立ち寄り憩える場所をめざし、人々が集いやすい環境整備に努める。 |
| | 貸館事業 | はっち事業3本柱の2つ目。集客を図るうえで自主事業と並び重要な事業として位置づけ、市民の多様で特色ある自主的な活動を支援するとともに、幅広い分野で行われる集客力ある啓発事業を誘致し、多様な主体の参加の一層の促進を図る。 |
| | 自主事業 | はっち事業3本柱の3つ目。Ⅰ 中心市街地賑わい創出、Ⅱ 文化芸術活動振興、Ⅲ ものづくり、Ⅳ 観光振興・フィールドミュージアム八戸推進、Ⅴ 情報発信を5つの柱に以下各種事業を展開。 |
| Ⅰ 中心街賑わい創出 | ライブラリー事業 | 「本のまち八戸」事業と連動し、一箱古本市やトークイベントなどを開催することで、市民に本の新しい楽しみ方を提供する。 |
| | シーズンイベント | GW、七夕、クリスマス、正月などの集客が期待できる期間に、中心街のイベントと連動しながら、はっち内で市民公募企画やコンサート、七夕飾りやクリスマスリースなどの季節感を醸し出す飾り付けなどを実施する。 |
| | 市民活動支援事業 | 現在見えていない面白い取り組みをしている市民や団体の掘り起こしを図るため、公募で集まった方々や、はっちスタッフが選んだ市民作家や団体等に活動の場を提供するほか、はっちひろばを活用し、市内音楽グループが主体となって「投げ銭ライブ」を定期開催する。 |
| | 中心街連携事業 | 業種別や世代別など中心街関係者と意見交換会を行う。また、「酔っ払いに愛を」や「八戸ライトショー・フェスティバル」等、はっちの事業を中心街の店舗（空き店舗含む）で開催し、中心街を回遊させるとともに、「（仮称）こぼはっち」構想への展開を検討する。 |
| Ⅱ 文化芸術振興 | 和日カフェ | 毎月第3日曜日に日本文化を学び継承している方々を中心に、はっち流に気軽に多彩なジャンルの日本文化を楽しめる場を提供することで、中心街に「ハレの場」を創出する。「公募企画」のほか、市民・文化団体が全体をコーディネートする「プロデューサー企画」も実施する。 |
| | モヨッテ参道 | 若い女性の視点で中心街の魅力を発信するために結成された「まちなか女子目線。委員会」のメンバーと一緒に、中心街のマップ作成やまち歩きイベントを実施し、おしゃれして訪れたくなるような中心街の雰囲気創出する。 |
| | 横丁活性化事業（酔っ払いに愛を） | 横丁関係者と協力して10月の1か月間を横丁の魅力を全国に発信する月間とし、はっちや横丁の空き店舗等を会場に、ダンスや演劇等を同時多発的に公演する「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター」を開催するほか、「のみだおれラリー」など横丁関連イベントを集中的に開催する。 |
| | 八戸ビューティ（アーティスト・イン・レジデンス事業） | 25年度に引き続き、八戸固有の多様な美をアートの手法で顕在化させ、より強くより美しい八戸の姿を全国・世界に発信する事業を展開する。 |
| | ① ショートムービーズ | 25年度に制作した作品及び26年度に公募アーティストが制作する映像作品群を上映、HP等で公開する。 |
| ② ライトショーフェスティバル | 地域資源の掘り起こしや地域の魅力再発見につながるプロジェクト・マッピング等の作品を展示する、市民参加型のライトショー・フェスティバルを開催する。 | |

平成26年度 八戸ポータルミュージアム事業概要

| 区分 | 事業名 | 事業概要 |
|--------------|---------------------|---|
| | ③はっち魚ラボ | 八戸を象徴する「魚食文化」を通して、八戸の地域資源や八戸で生きる豊かさを再発見するアートプロジェクトを展開する。 |
| | パフォーミングアーツ振興事業 | 市外で活躍する優れたパフォーミングアーツのアーティストやカンパニーに作品制作・公開の場を提供し、市民や市内アーティストとの交流を促進する。実施にあたり、南郷アートプロジェクトやはちのへ演劇祭等と連携を図る。 |
| | アーティスト・イン・レジデンス公募事業 | 平成25年度に全国から公募して選定した2組のアーティストが、「八戸ビューティ」事業と関連し、八戸の魅力を引き出し、世界へ発信できるような映像作品の制作と公開を行うほか、27年度に関わっていただくアーティストの公募を行う。 |
| Ⅲ ものづくり振興 | ものづくりスタジオ支援事業 | ものづくりスタジオ入居者を紹介するカタログ制作やアドバイザーの派遣指導等により、ものづくり作家の中心街への出店を支援するとともに、ミニクラフト市などを通じて次代を担うものづくり作家の発掘と育成を行う。また、ものづくりスタジオがあるはっち4階への集客を図るためのイベントを定期的に開催する。 |
| | はっち市2014 | 「はっちがちっちゃな街になる」をテーマに、全国から公募したクラフト作家・飲食店がはっちに集結する3日間の本格的クラフト市。市民にものづくりの楽しさや作品に触れる機会を提供するとともに、横丁・朝市と連携し、観光客誘致を意識したPRにも努める。 |
| Ⅳ 観光振興 | お祭り連携事業 | 観光客や市民に、三社大祭やえんぶりをより深く理解し、楽しんでいただけるよう、パネル展や太鼓・着付け体験、創作和紙人形展等を実施する。また、三社大祭期間中は、はっちひろばを山車小屋と見立てて山車を展示し、音楽や照明で演出し、新しい祭りの楽しみ方を提供する。 |
| | フィールドミュージアムアクセス事業 | センターミュージアムであるはっちから市内の各観光地へ誘導するための情報提供を行うほか、インフォメーション業務の今年度受託者である八戸観光コンベンション協会や市観光課とも連携を図りながら、はっちを起点とした着地型観光の充実を図る。また、「はっち特派員」「市民学芸員」と呼ばれる市民の協力を得て、リアルタイムな観光情報の収集・発信を行う。 |
| Ⅴ 情報発信 | 情報発信事業 | 新聞、ラジオ、インターネット（HP、ブログ、メルマガ等）、チラシ等の複数の媒体及び学校・各種団体への貸館セールスにより、事業や八戸の魅力を全国に発信する。 |
| | はちみつ発行 | はっちの広報紙「はちみつ」を年4回発行。自主事業や貸館等のイベント情報、更には中心街や地域資源に関する情報をこれらイベント情報に絡めたまちの情報誌として、親しみのあるデザインによって発信する。 |
| | アーカイブ | 「はっち」の取り組みを内外に発信し、注目度を高めるため、これまでに制作したアーカイブ本・小冊子の販売・配布を行うほか、25年度の事業を取りまとめた小冊子を発行する。 |
| 共通 | はっち新規ファン開拓事業 | OLや大学生、高校生など、はっちの事業にこれまであまり深く関わってこなかった層をターゲットに、事業モニターやイベントボランティアなどはっちの事業に容易に関われる仕組みを設けるほか、市民ロボコン大会など市民の自発的な企画の実現に向けたサポートを行う。 |
| | 周年事業 | はっち開館記念日である2月11日に、広く市民にはっちと中心街に対する愛着と関心を持っていただけるようなコンサート等のイベントを実施する。 |